

第71回産業精神保健定期研修会

日時：令和6年10月14日（月・祝）13：00～17：30

会場：医療法人純和会 矢作川病院 北館3階「グリーンホール」
〒444-1164 愛知県安城市藤井町南山141番地

◆ 前半の部：ケース・スタディ

体重減少・自殺企図のために入退院を繰り返し、
就労・結婚・出産をしていった摂食障害の30代女性

コメンター：京都ヘルメス研究所所長・京都大学名誉教授・
産業精神保健（IMH）研究所 特別顧問 山中 康裕 先生

座長：愛知医科大学 医学部 精神科学講座 教授 宮田 淳 先生

発表者：産業精神保健（IMH）研究所 研究員 臨床心理士 黒野 和将

◆ 後半の部：特別講演・ディスカッション

個人心理療法に影響を与えるもの ～セラピストとクライアントは面接や
面接以外の体験からどのような影響を受けているか～

講師：山中 康裕 先生

座長：宮田 淳 先生

◇ 申込方法 別紙申込書をメールもしくはFAXでご送付後、所定の金額をお振り込み下さい。

- ① お問い合わせ先 医療法人純和会 産業精神保健（IMH）研究所 事務局
Tel：0566-99-6501 Fax：050-3794-7752
Mail：imh-kensyukai@imh-l.jp
- ② 参加費 会員様：当日、受付にてご所属とお名前をお伝えください。
非会員様：3,500円 同じ所属3名以上でお越しの方は3人目から2,000円
学生の方：2,000円（要学生証）
- ③ お振込先 別紙「申込用紙」のメールアドレスに口座番号をご連絡させていただきます。
- ④ 申込締切日・振込期限：~~令和6年10月3日（木）~~→【延長しました】10月9日（水）
- ⑤ 対象 医師、臨床心理士・公認心理師、保健師・看護師、精神保健福祉士、作業療法士、
薬剤師、教育関係、介護士、大学・大学院生、企業等で産業保健に関わる方 等



医療法人純和会 産業精神保健（IMH）研究所

第 71 回産業精神保健定期研修会 開催に寄せて

拝啓

残暑の候、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

今回は、前半の部のケース・スタディでは、参加者の皆様とのディスカッション後に山中康裕先生のコメントを頂く形式で企画させていただきました。後半の部の特別講演では、長年心理療法を通して多くの子どもたちの心に関わってこられた山中康裕先生より、思春期・青年期の危機に直面した患者さんに対して、私たちはどのように関わればよいのかお伺いします。

今回は、ディスカッションの時間を多くとり、皆様と考えていきたいと思っておりますので、是非ご参加下さいますよう、お願い申し上げます。

敬具

<講師>

山中 康裕（やまなか やすひろ）先生

京都ヘルメス研究所所長・京都大学名誉教授・

医療法人純和会 産業精神保健（IMH）研究所 特別顧問

精神科医。臨床心理士。1941年名古屋市生まれ。名古屋市立大学大学院医学研究科卒業後、同大学助手、講師、南山大学文学部助教授を経て、京都大学教育学部助教授に就任。その後京都大学教授に就任され、同学部長、研究家科長、第19期日本学術会議会員を歴任。2005年に同大学を退職。京都ヘルメス研究所所長。2007年当研究所・特別顧問に就任。2009年より2012年3月まで浜松大学（現：常葉大学）大学院教授、同附属臨床心理教育実践センター長。

これまで、米国表現病理学会賞エルンスト・クリス賞（1995年）、フランス表現病理・芸術療法学会バスク賞（1997年）、カナダ箱庭療法学会ファーザー・ラーベン賞（2000年）、WPA（世界精神医学会）世界精神医学会金賞（2002年）、生涯功績賞マス・メディア精神保健部門（2002年）などを受賞され、各方面で御尽力されてこられました。

現在も臨床現場でご活躍されながら、「カウンセラー」として子どもと川とのふれあいを通して子どもの心を豊かにする活動をされるなど、日本を代表する精神科医、臨床心理士であります。

主な著書：『少年期の心』『心理臨床学のコア』『心理臨床と表現療法』『魂と心の知の探求』

『深奥なる心理臨床のために』『心理臨床プロムナード ところをめぐる13の対話』

『山中康裕著作集〈第1巻～第6巻〉』『MSSMへの招待 描画法による臨床実践』

『山中康裕の臨床作法』（最新刊）など多数

<会場へのアクセス>

車でお越しの方：病院正面玄関前の「外来駐車場」をご利用下さい。

電車でお越しの方：名鉄西尾線「米津駅」12：35頃に当院の送迎車が参ります。

送迎を御希望の場合は、別紙参加申込書に御記入下さい。